



2022年5月分

TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH
東京税関羽田税関支署



羽田空港貨物取扱量

総取扱量は4ヵ月連続減、積込量は5ヵ月連続減、取卸量は3ヵ月連続減

概要

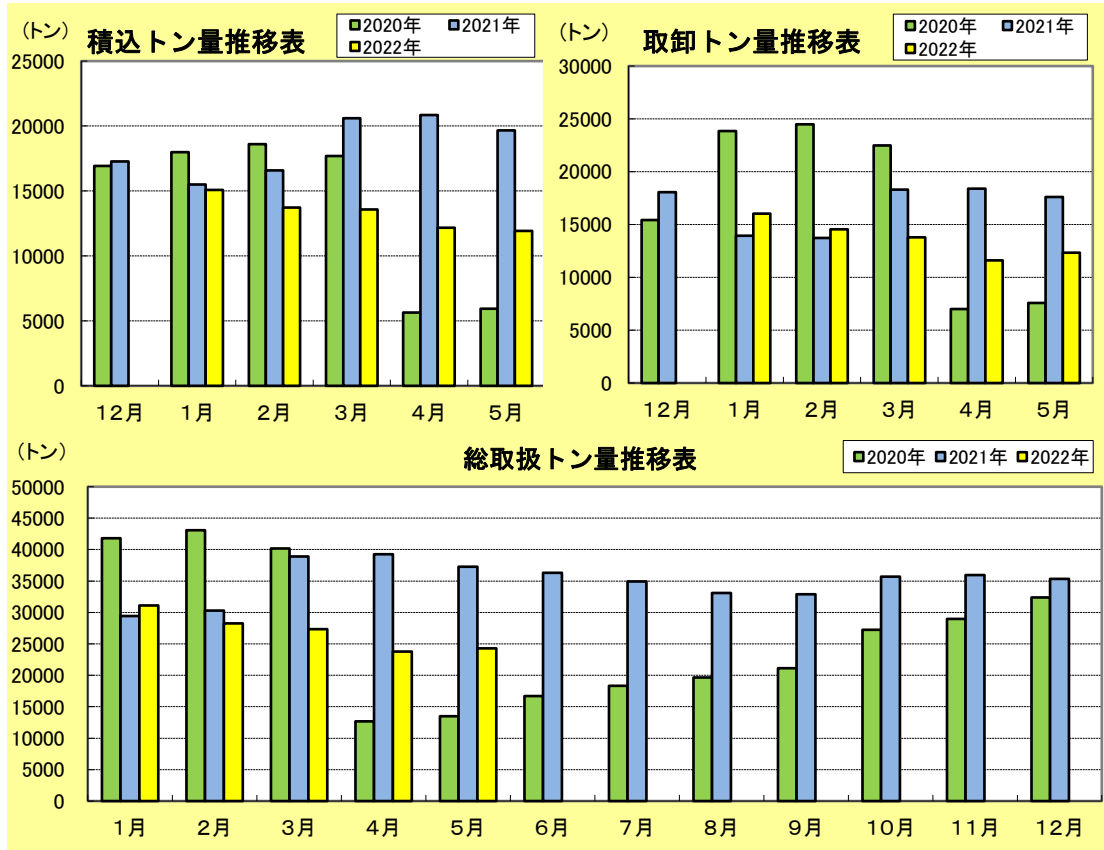
2022年5月の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量 24,269トン(前年同月比 34.9%減)

積込量 11,935トン(同 39.3%減)

取卸量 12,334トン(同 29.9%減)

となり、前年同月比で見ると、総取扱量は4ヵ月連続、積込量は5ヵ月連続、取卸量は3ヵ月連続でマイナスとなった。



1. 本資料を他に転載するときは、東京税関(羽田税関支署)の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課(TEL050-5533-6971)まで。



地域別通関動向

● 輸出货量

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 959トン(前年同月比 9.6%減、シェア 13.9%)

その他地域通関 5,956トン(同 30.4%減、同 86.1%)

となり、前年同月比で見ると、羽田地域通関は3カ月連続、その他地域通関は4カ月連続でマイナスとなった。

● 輸入量

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 3,076トン(前年同月比 35.6%減、シェア 43.3%)

その他地域通関 4,026トン(同 29.0%減、同 56.7%)

となり、前年同月比で見ると、羽田地域通関、その他地域通関ともに、3カ月連続でマイナスとなった。



仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 5,020トン(前年同月比 49.9%減)

取卸量 5,232トン(同 26.9%減)

となり、前年同月比で見ると、積込量は6カ月連続でマイナス、取卸量は5カ月連続でマイナスとなった。



生鮮・ドライ取卸貨物動向

2022年5月の羽田空港で輸入された貨物(羽田地域通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別にみると、

生鮮貨物 910トン(前年同月比 11.5%減、シェア 29.6%)

ドライ貨物 2,166トン(同 42.3%減、同 70.4%)

となった。

生鮮貨物の内訳は、野菜等21.4%(前年同月比1.3%減)、水産物14.1%(同63.6%減)、果物40.0%(同18.1%増)、植物(切花等)11.4%(同9.4%増)等となった。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

	2022年5月			2021年5月		
	トン	前年同月比	構成比	トン	前年同月比	構成比
羽田空港輸入貨物量	3,076	64.4%	100.0%	4,780	170.6%	100.0%
生鮮	910	88.5%	29.6%	1,028	259.6%	21.5%
ドライ	2,166	57.7%	70.4%	3,752	155.9%	78.5%